

英語を楽しく

☆ 英語力とは、その場にあった適切な英語が出せる力

6月13日、6年生の英語活動日、ALTのKaren先生の英語を6年生はしっかり聴き取りました。そして、適切な単語で答えました。このとき、英語が話せるということは、「聴き取り、話すこと」と共に思いました。6年生がしたのはもう立派な英会話です。英会話というと何か難しい英熟語を使い、早口で話すことを想像しがちですが、そうではなく、「聴き取り、適切な言葉で答えること」につきます。

下の例文A・Bどちらが自然だと思いますか？ コーヒー店の前を通りかかっている2人会話



B I think that your idea is good, so I agree with you. It's fine.

A Fine.



B What do you think that we will have a cup of coffee at that coffee shop ?

A Shall we have a coffee ?

もちろん A

コーヒーを飲もうと誘うのに、「コーヒーどう？」で十分。答える方も「いいね。」で十分。なが〜い言葉は不要。ですから、「英会話とはこんなもの。誰だってできる。」と考えるのがいいのではないのでしょうか。「でも、知らない単語もあるし…。」といわれる方、そんなときは、体で表現。或は、絵を描いて表現。これでOK！

英会話は、相互の意思伝達が目的、会話してお互いの理解もできるし、親交もできるし。だから、「え〜快話」なんです。

☆ つぎの場面では英語でどう言いますか

[気に入った服を取って見せて欲しいと店員さんにたのむ]

"Excuse me, show me that, please" (気に入った服を指さして)



Sure.

【シアトル行きの切符を2枚駅員さんにたのむ】

"Excuse me, Seattle 2 tickets, please" (駅員さんに向かって)

Thank you .



Yoshi